



Painter® essentials 7

クイック スタートガイド

Copyright 2019 Corel Corporation. All rights reserved.

Painter® Essentials 7 クイック スタート ガイド

表紙は Brandon McDonald 氏によるアートワーク

このユーザー ガイドの内容、および関連する Corel Painter ソフトウェア（以下「ソフトウェア」という）は、Corel Corporation（以下「Corel」という）および該当するライセンサーに帰属し、著作権で保護されています。Corel Painter の著作権について詳しくは、ソフトウェアの [ヘルプ] - [Corel Painter について] をご覧ください。

製品の仕様、価格設定、パッケージ、テクニカルサポート、情報（以下「仕様」）は、販売用英語版のみについてのものです。その他すべてのバージョン（他言語版を含む）の仕様は異なることがあります。

情報は、明示・黙示を問わずその他一切の保証または条件（市販可能な品質に関する保証、適正品質に関する保証、または商品性・特定用途への適合性等の保証、あるいは、法律その他の法令、取引慣行、取引過程等により発生するものを含むがこれに限らない）を伴わずに Corel 社によって「現状有姿」ベースで供給されるものとします。提供される情報の運用およびその結果に関する全リスクはお客様が引き受けるものであり、Corel 社は、お客様およびその他いかなる個人または法人に対しても、間接損害、付帯損害、特別または偶発的損害（売上または利益の喪失、データの滅失または損傷、その他の商業的または経済的な損害を含むがこれに限らない）につき一切責任を負わないものとします。前述のような損害の可能性につき当社が連絡を受けていた場合、あるいはそのような損害が予測可能であった場合も同様とします。また、Corel は第三者によるいかなる請求についても責任を負いません。Corel の責任の合計額は、お客様が本製品の購入に際して支払った金額を超えないものとします。州または国によって偶発的損害もしくは付帯損害について債務の除外または制限が認められないことがあります、その場合には、前述の限度はお客様には適用されません。

Corel、Corel Balloon のロゴ、Corel のロゴと Balloon のロゴとの組み合わせ、Painter、CorelDRAW、Natural-Media、PaintShop、RealBristle、VideoStudio、および WordPerfect は、カナダ、米国、および / またはその他の国における Corel Corporation および / またはその子会社の商標または登録商標です。その他の製品、フォント、企業名、ロゴは、それぞれの企業の商標または登録商標です。特許：www.corel.com/patent

サンプルのアートワークは、Corel の関連企業ではないサード パーティにより作成されており、許可を得て使用されています。

209099

目次

Corel Painter Essentials 7.....	3
コンピュータ、タブレット、2-in-1 デバイスで Corel Painter Essentials 7 を使用する.....	5
フォト アート: 自動ペインティング.....	5
フォト アート: 手作業でのペイント.....	7
フォト アート: トレース.....	8
一から描画またはペイントを開始する.....	8
ブラシを選択する.....	11
ブラシを取得する.....	12
ブラシ カテゴリについて.....	13
ツールボックスについて.....	20
パネルとパレットについて.....	22
Corel Painter 製品ファミリー.....	24

Corel Painter Essentials 7

Corel® Painter® Essentials™ 7 は、写真からペイントを作成したり一から描画やペイントを始めたりすることができる、直感的で軽く、非常に速いソフトウェアです。幅広いペイントスタイルが用意されており、多様なプリセットによって数回クリックするだけで人を引き付ける写真作品を作成することができます。また、利用可能なブラシを使用して自分だけのペイント作品やイラスト作品を作成することもできます。

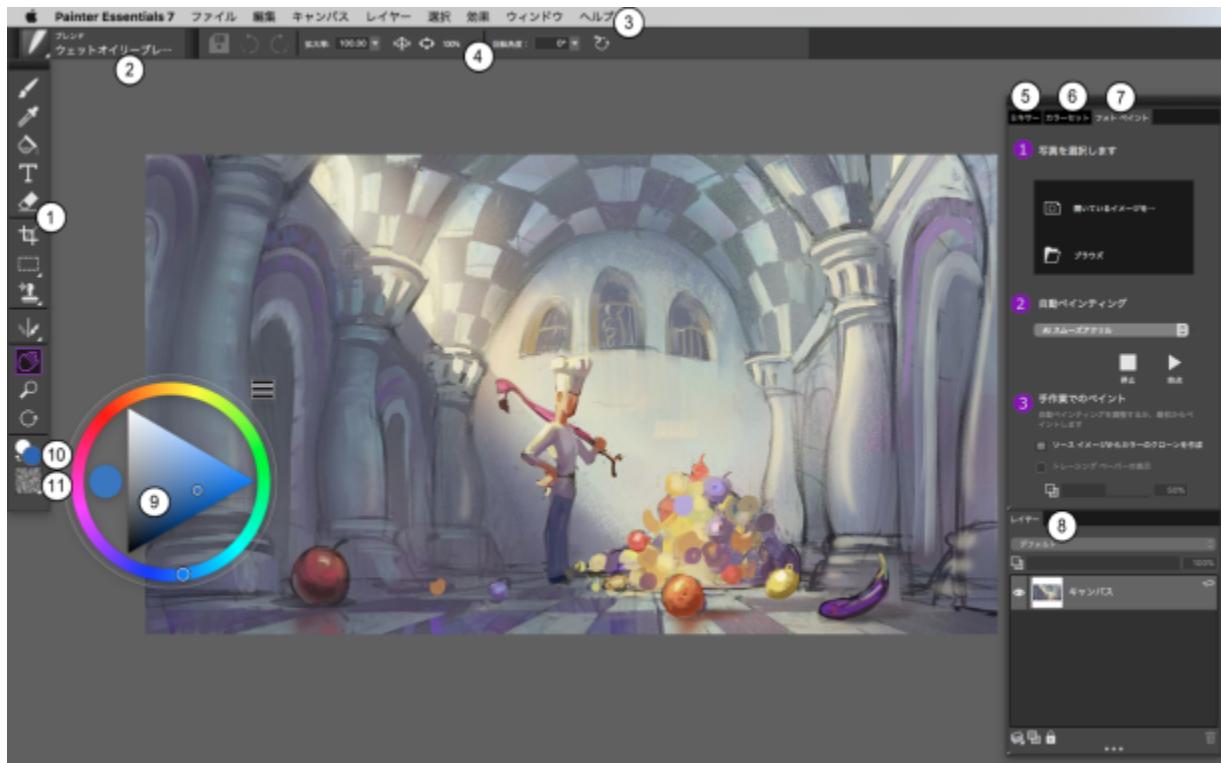
Corel Painter Essentials 7 の作業領域の見やすい外観や操作感覚は、整然とした環境の中で、使用頻度の最も高いツール、効果、コマンド、および機能に簡単にアクセスできるように設計されています。



Corel Painter Essentials を使用して作成したアートワーク。

作業領域の概要

作業領域は、メニュー、セレクタ、パネル、およびインタラクティブ パレットに分類されています。



丸で囲まれた番号は、以下の表の番号に対応します。この表では、アプリケーションのウィンドウのメイン コンポーネントについて説明します。(アートワーク作成者 Pavel Goloviy)

コンポーネント

- 1.ツールボックス
- 2.[ブラシ セレクタ] バー
- 3.メニュー バー
- 4.プロパティ バー
- 5.[フォトペイント] パネル
- 6.[ミキサー] パネル
- 7.[カラー設定] パネル
- 8.[レイヤー] パネル
- 9.カラー ホイール
- 10.現在のカラー
- 11.テクスチャ セレクタ

説明

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| 1.ツールボックス | イメージの作成や変更に使用するツールにアクセスします |
| 2.[ブラシ セレクタ] バー | ブラシを選択します |
| 3.メニュー バー | コマンドやオプションにアクセスします |
| 4.プロパティ バー | アクティブなツールに関連する設定にアクセスします |
| 5.[フォトペイント] パネル | 写真を自動、または手作業でペイントします |
| 6.[ミキサー] パネル | カラーをブレンドします |
| 7.[カラー設定] パネル | 現在のカラー設定のカラーを表示します |
| 8.[レイヤー] パネル | レイヤーを管理します |
| 9.カラー ホイール | ペイントに使用するカラーを選択します |
| 10.現在のカラー | 現在のカラーを表示したり変更したりします |
| 11.テクスチャ セレクタ | 用紙テクスチャを選択します |

コンピュータ、タブレット、2-in-1 デバイスで Corel Painter Essentials 7 を使用する

本アプリケーションには 2 つの作業領域という機能があります。これにより、デバイスの設定をラップトップから 2in1 デバイスのタブレット モードに自動的に適用したり、タブレットの使用に適したインターフェイス (より大きなアイコンやボタン) を最適化することができます。[ウィンドウ] } [レイアウト] } [クイック切り替え] の順にクリックし、タブレットまたはラップトップのオプションを選択するとアプリケーションのモードが自動的に切り替わりますが、その際に使用されるデフォルト レイアウトを選択できます。デフォルト レイアウトを素早く切り替えるには、[ウィンドウ] } [レイアウト] } [クイック切り替え] } [レイアウトの切り替え] の順にクリックします。[ウィンドウ] } [レイアウト] の順にクリックし、[ラップトップ]、[タブレット (右利き用)]、または [タブレット (左利き用)] を選択して、2 つのモードを手動で切り替えることもできます。

Corel Painter Essentials 7 は、Wacom 互換のタブレットとデバイス、および Windows オペレーティング システムのリアルタイム スタイラス (RTS) 機能をサポートするデバイスをサポートします。どちらのグループのデバイスでも、マルチタッチ機能がサポートされます。

Wacom 互換のデバイスは、Mac OS と Windows の両方でサポートされます。RTS 互換デバイスには、タブレット PC とグラフィックス タブレットがあります。これらは、Windows でのみサポートされます。

デフォルトでは、Corel Painter は Wacom 互換デバイスに適しているタブレット オプションを使用します。お使いの RTS 互換のグラフィックス タブレットまたはその他のデバイスのメリットを Corel Painter で最大限に活用するには、まず、そのデバイスを構成する必要があります。構成しないと、筆圧や傾きなどのスタイルス情報を使用して、ブラシストロークを調整およびコントロールできません。

スタイルスの設定 (Windows のみ)

コンピュータに Corel Painter Essentials 7 がプリインストールされている場合、事前設定済みのペンタブレットのサポートにより、マウスからスタイルス、またはスタイルスからマウスに切り替える場合でもシームレスにアプリケーションを操作することが可能です。

製品をダウンロードした場合やスタイルスを使用する場合、スタイルスが適切に動作するように、タブレットの設定の変更が必要になることがあります。タブレットの環境設定では、Windows のアプリケーションで使用するタブレットおよびその他のデバイスにとつて適切なオプションを選択できます。

デバイスを構成するには (Windows)

- 1 お使いのデバイスが接続されていること、最新のドライバ ソフトウェアがインストールされていることを確認します。
- 2 [編集] } [環境設定] } [タブレット] の順にクリックします。
- 3 スタイラス入力デバイスに応じて、[タブレット オプション] 領域で次のいずれかのオプションを有効にします。
 - 互換性のある Wacom 製デバイス (Wintab) – 互換性のある Wacom 製デバイスを使用できるようにします
 - 互換性のある RTS デバイス (リアルタイム スタイラス) – RTS 機能を備えているタブレットまたはデバイスを使用できるようにします

フォト アート: 自動ペインティング

Corel Painter Essentials 7 を理解するために良い方法の 1 つとして、写真上でペイントしてフォトアートを作成するという方法があります。始めるときに必要なものは、元のイメージに使用する写真だけです。フォトアートを作成するのに使用するツールは、[フォトペイント] パネルにあります。利用可能なプリセットには、印象派のペイントや水彩スケッチなどのペイント スタイルが用意されています。



さまざまなプリセットスタイルを使用して、写真をペイントに変換することができます。

人工知能 (AI) プリセットは、さまざまなアーティストによる多数のペイント作品の分析を基に高度な機械学習手法を用いて、プロのアーティストの自然な描写やペイントスタイルをより写実的に実現した自動ペインティングを作成します。これらのプリセットは、風景や静物、都会の景色などさまざまな内容を被写体とする写真に利用できるうえ、人物像では特に良い仕上がりが期待できます。また、AI プリセットの多くは線画でも良い結果が得られます。

自動ペインティングは手作業で微調整できます。たとえば、[フォトペイントブラシ] カテゴリの [ソフトクローン] というブラシを使用すれば、ぼやけすぎてしまった部分にディテールを戻すことができます。ブラシの選択方法について詳しくは、11 ページの「[ブラシを選択する](#)」を参照してください。

自動ペインティングを使用する

1 ペイントに変換する写真を開き、[フォトペイント] パネルの [開いているイメージを使用]  をクリックします。

異なるイメージを使用する場合は、[参照]  をクリックします。

2 [自動ペインティング] 領域で、ポップアップメニューからプリセットスタイルを選択します。

3 [開始] ボタンをクリックします。

自動ペインティングは、ペイントが終了すると自動的に停止します。自動ペインティングを早めに停止するには、[停止] ボタンをクリックします。



手作業で最後の仕上げを施すことができます。さまざまなペインティング効果を試すには、ブラシや用紙テクスチャなどの設定を変更します。

フォト アート: 手作業でのペイント

プリセットのペイントスタイルを使用する以外にも、手作業で写真をペイントすることができます。写真に含まれる精細さがペイントには含まれないことがあります。手作業でペイントする場合は、主要な構図要素を選択してから、素早くラフなストロークで選択領域のペイントを開始してください。キャンバスの全面を塗り潰してしまわないようにペイントしてください。キャンバスの一部が透けて見えることで、無造作で流れるような質感を与えることができます。隣の領域とわずかに重なってもかまいません。基本は、素早く自然にブラシを動かすことです。

作品の芸術性を高める上で効果的なスタイラスやタブレットを使用することを推奨します。

手作業で写真をペイントする場合は、【フォトペイントブラシ】カテゴリからさまざまなブラシを試して異なるスタイルを適用できます。詳細は、11ページの「ブラシを選択する」を参照してください。トレーシングペーパーを有効にすれば、クローンカラーの正確な適用に役立ちます。トレーシングペーパーには、クローン書類のソース画像が半透明で表示されます。従来のトレーシングペーパーとは異なり、Corel Painterのトレーシングペーパーは、レイヤーや書類のような実際のオブジェクトではありません。ペイントするときの参考にするためにクローンソースの画像を表示するのがこの機能の役割です。トレーシングペーパーを有効にしてペイントを開始すると、従来のトレーシングペーパーのときと同じようにクローン書類にメディアが適用されます。トレーシングペーパーを有効にしたときに画像の細部がすべて見えない場合は、トレーシングペーパー ビューのクローンソースの表示/非表示を切り替えることができます。トレーシングペーパーの不透明度もコントロールできます。



手作業で写真をペイントする

手作業で写真をペイントする

1 [フォトペイント] パネルで、[参照]  をクリックし、ペイントに変換する写真を選択します。

2 ブラシセレクタバー上でブラシセレクタをクリックし、【フォトペイントブラシ】カテゴリからブラシバリエントを選択します。

ヒント: 他のカテゴリのブラシでペイントするには、ブラシセレクタバーの[ブラシセレクタ]をクリックし、ブラシのカテゴリおよびバリエントを選択して、[フォトペイント]パネルの[ソースイメージからカラーのクローンを作成]チェックボックスをオンにします。

3 イメージ上にペイントします。

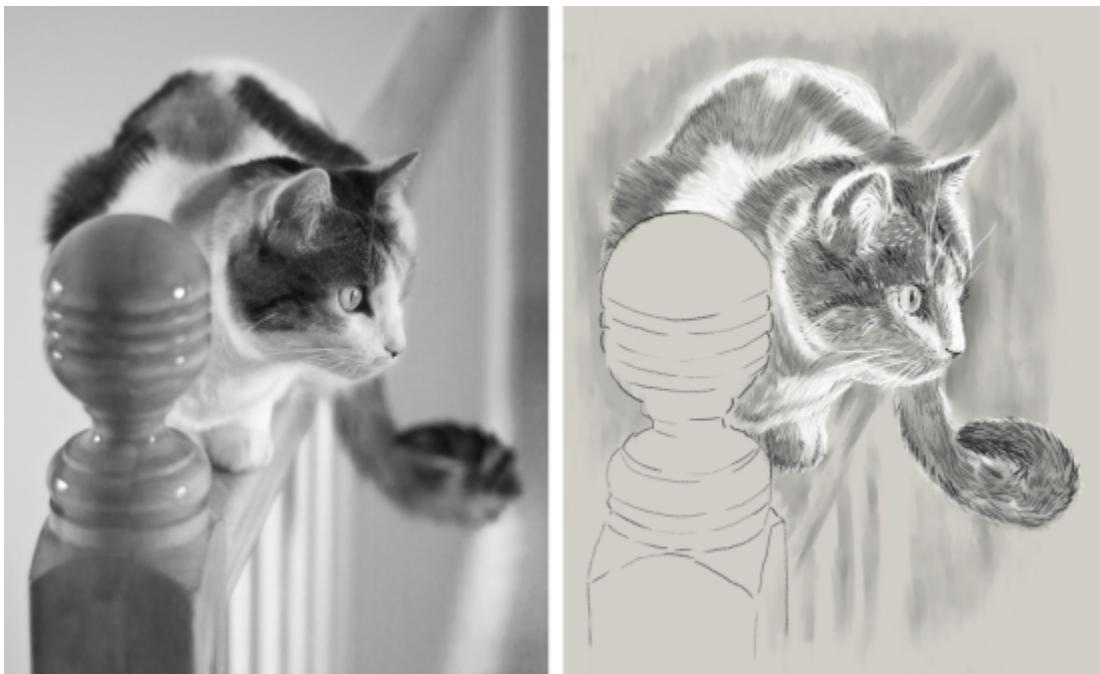
ヒント: ペイント中にクローンソースイメージを参考にしたい場合は、[トレーシングペーパーの表示]チェックボックスをオンにします。



ズームレベルを調整してペイントの細部を編集できます。ツールボックスから拡大ツール  をクリックし、右または左にドラッグすると、それぞれ拡大/縮小表示されます。また、適宜トレーシングペーパーを非表示にして結果を確認することもできます。

フォト アート: トレース

写真にペイントする以外にも、トレーシング ペーパーを使用して写真やその他のアートワークの輪郭を描くことができます。この輪郭をペイントに利用することもできます。または、写真をトレースして木炭やチョークの描画などのスケッチを作成することも可能です。



写真をトレースしてスケッチを作成する

写真をトレースする

- 1 [フォトペイント] パネルで、[参照]  をクリックし、トレースする写真やその他のアートワークを開きます。
- 2 [ブラシセレクタ] バーの [ブラシセレクタ] をクリックして、ブラシのカテゴリおよびバリエントを選択します。
注意: [フォトペイント] カテゴリのブラシバリエントは常に色をクローンするため、イメージのトレースには適していません。
- 3 [フォトペイント] パネルで、[ソースイメージからカラーのクローンを作成] チェックボックスをオフにします。
- 4 [トレーシングペーパーの表示] チェックボックスをオンにします。
ペイント対象の元の写真を視覚的な参照として確認することができますが、ペイントに使用するカラーを選択できます。
- 5 キャンバスで描画し、参照として下にある元のイメージを参照して、イメージの輪郭を描きます。

スタイルスの筆圧を変えることで、暗いトーンや明るいトーンを適用できます。陰影は多少変化させてもかまいません。



トレーシング ペーパーの不透明度を変更するには、[トレーシングペーパーの不透明度設定] スライダーを移動するか、[トレーシングペーパーの表示] チェックボックスをオフにしてトレーシングペーパーを非表示にします。

一から描画またはペイントを開始する

一から描画またはペイントを開始する場合は、キャンバスのサイズや方向を設定し、多様なブラシからブラシを選択してカラー ホイールからカラーを選択してペイントすることができます。

Corel Painter Essentials 7 では、実際の表現手段を念頭に置いて設計された各種のブラシが用意されているので、ブラシがどのように機能するかを予測できます。Painter のブラシは、オイルペイントや水彩画だけではなく、鉛筆、ペン、パステル、その他の表現手段などさまざまな表現手段を使用してペイントや描画することが可能です。

ブラシ バリアントとも呼ばれる個々のブラシがブラシ カテゴリ別に [ブラシ ライブラリ] パネルに保存されています。詳細は、11 ページの「[ブラシを選択する](#)」を参照してください。

ブラシ バリアントはそのまま使ってもよいですし、目的に合わせて調節して使うこともできます。ブラシのサイズ、不透明度、粗さ(ブラシストロークのテクスチャに対する反応)などの項目だけを少し調節して使っているアーティスト多くいます。これらの設定はプロパティ バーにあります。

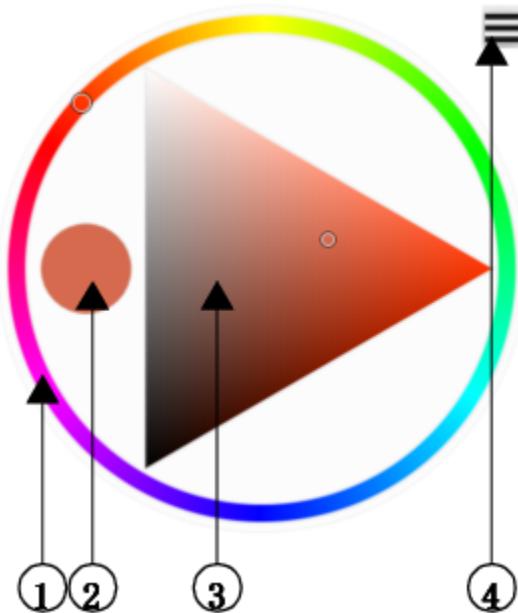


多様なブラシを使用してオリジナルのアートワークを作成できます。

Corel Painter の大半のブラシは、イメージにカラーを適用するものです。ただし、一部のブラシは既にイメージにあるカラーに変更を加えるためのブラシですたとえば、[水滴] ブラシ バリアント ([ブレンド] ブラシ カテゴリ) は、ブラシストロークで既存のカラーを薄めて伸ばします。この種のブラシはキャンバスやレイヤーの空白部分で使っても何も起きません。

カラー ホイール

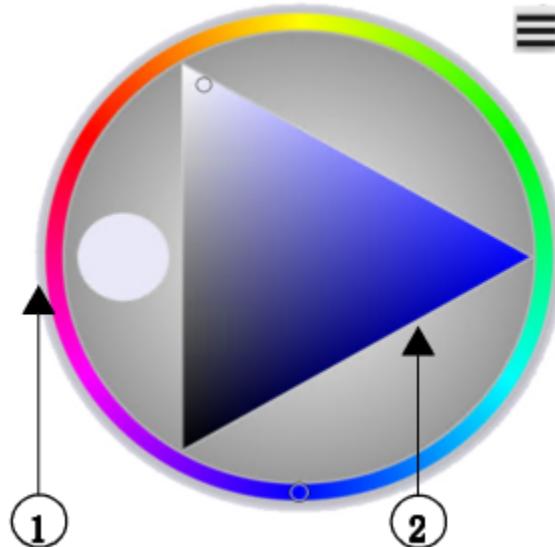
カラー ホイールを使用してカラーを選択できます。カラー ホイールの表示/非表示を切り替えるには、**Command + 1** (macOS) または **Ctrl + 1** (Windows) を押すか、ツールボックスのカラー セレクタをダブルクリックします。



カラー ホイール: [色相リング] (1) では、色を選択できます。[彩度/明度トライアングル] (3) では、黒、白、グレー スケールなどの他に、色の強さを指定できます。選択した色 (2) は、[彩度/明度トライアングル] の左側の丸い色見本に表示されます。[オプション] ボタン (4) では、クローン カラーを有効にしたり、メイン カラーとサブカラーを切り替えたりするための便利なコマンドにアクセスできます。

カラー ホイールでは、[色相リング] からカラーを選択したり、[彩度/明度トライアングル] からカラーを調整することができます。[彩度/明度トライアングル] の一番上は最大値 (白) で、一番下は最小値 (黒) を表します。彩度は、左から右に増加します。右にドラッグするか、右側をクリックすると、彩度が高くなり主色相の純色に近くなります。左にドラッグするか、左側をクリックすると、彩度が下がり「くすんだ」グレーがかった色になります。

カラー ホイールはドキュメント ウィンドウ内で簡単に移動してサイズ変更し、色の詳細を確認することができます。



カーソルをカラー ホイール (1) のエッジの上に置き、十字カーソル が表示されたら、カラー ホイールが目的のサイズになるまでドラッグします。グラブ領域 (2) 内の任意の場所をクリックし、カラー ホイールを新しい場所にドラッグします。

レイヤーの基本

レイヤーを使用して、一度に 1 要素ずつイメージを構築できます。これにより、あるレイヤーのコンテンツを他のレイヤーやキャンバスから独立して変更および操作できます。同様に、どのレイヤー上のイメージも変更することなく、キャンバス上のイメージを編集することができます。たとえば、レイヤーに描画した結果が気に入らなければ、キャンバス全体を消去することなく、影響を受けたレイヤーを変更または削除するだけで済みます。

ブラシストロークなどのコンテンツをレイヤーに追加した場合、コンテンツのないレイヤーの領域は透明になります。このため、そのレイヤーより下のレイヤーやキャンバスのコンテンツを表示することができます。



レイヤーを透明な素材、たとえば、アセテートなどのシートとして想定してみてください。レイヤー上でペイントすると、その下のイメージが覆い隠されてしまいます。イメージがない部分は透明な状態です。

一からペイントを開始する

- 1 [ファイル] } [新規作成] をクリックし、いずれかのオプションを選択してキャンバスを設定します。
- 2 ツールボックスで ブラシ ツール をクリックします。
- 3 [ブラシ セレクタ] バーの [ブラシ セレクタ] をクリックして、ブラシのカテゴリおよびバリエントを選択します。
- 4 カラー ホイールでカラーを選択します。
カラー ホイールの [オプション] ボタン をクリックし、[クローン カラー使用] がオフになっていることを確認します。
- 5 キャンバス上にペイントします。



[プロパティ] バーのコントロールを使用して、ブラシのサイズやその他の設定を変更できます。プロパティ バーの [ツールのリセット] ボタンをクリックすると、いつでも選択したブラシをデフォルトの状態に復元できます。

ブラシストロークを元に戻すことができます。それには、プロパティ バーの [元に戻す] ボタン をクリックするか、ツールボックスの 消しゴム ツール を使用します。

ブラシを選択する

[ブラシ ライブラリ] パネルでは、さまざまなブラシ カテゴリからブラシを選択できます。また最近使用したブラシを表示することもできます。



[ブラシ ライブラリ] パネルでは、ブラシのカテゴリやバリエントを表示できます。[ブラシ ライブラリ] パネルにアクセスするには、ブラシセレクタバー(2)の[ブラシセレクタ](1)をクリックします。

[ブラシ ライブラリ] パネルでは、ブラシはカテゴリに分類されています。カテゴリには、ブラシバリエントが含まれています。ブラシカテゴリは、同系のブラシとメディアをグループ化したものです。ブラシバリエントとは、ブラシカテゴリに含まれている特定のブラシのことです。

[ブラシセレクタ]バーを表示する/隠す

- [ウィンドウ] } [ブラシセレクタ]を選択します。

ブラシのカテゴリやバリエントを選択する

- 1 ツールボックスでブラシツール  をクリックします。
- 2 ブラシセレクタバーの[ブラシセレクタ]をクリックします。
- 3 [ブラシライブラリ]パネルで、ブラシカテゴリをクリックし、ブラシバリエントをクリックします。

ブラシを取得する

Corel Painter 内からクリエイティブブラシパックを購入してブラシコレクションを拡張できます。新しいブラシパックがWelcomeスクリーンに表示されます。Welcomeスクリーンからイメージを手早く開始/開く、ニーズに合ったレイアウトを選択する、オンライン学習リソースを利用するなどが可能です。また、Corel Painterを使用して作成されたオリジナルアートワークギャラリーから着想を得て、写真、デザイン、ペイントの見映えを強調してプロジェクトに深みを持たせる新しいブラシを見つけることも可能です。このリストは新しい製品が登場すると更新されます。ブラシパックを購入すると、そのブラシパックがインストールされ、[ブラシセレクタ]にアクティブなブラシとして表示されます。

Corel Painter を再インストールするか、別のコンピュータにインストールする場合は、購入品を復元できます。これにより、購入済みの品目をダウンロードして再インストールすることができます。

ブラシ パックを取得するには

- 1 Welcome スクリーンで ([ヘルプ] } [Welcome])、[もっと見る] をクリックし、[新しいブラシ] をクリックします。
- 2 ブラシ パックをクリックします。
- 3 [今すぐ購入] をクリックし、画面の指示に従って品目を購入します。
購入したブラシ パックがインストールされ、[ブラシ セレクタ] にアクティブなブラシとして表示されます。

購入品を復元するには

- 1 [ヘルプ] } [購入品の復元] をクリックします。
- 2 表示されるダイアログ ボックスで、購入に使用した電子メール アドレスを入力し、[続行] をクリックします。
購入品のリストが表示されます。
管理者権限の入力を求められた場合は、システム パスワードを入力してインストールを続行します。
- 3 [閉じる] をクリックします。



この手順は、Corel Painter Essentials 7内から購入されたブラシ パックの復元にのみ使えます。

ブラシ カテゴリについて

以下の表に、Corel Painter Essentials 7 で使用できるブラシ カテゴリの説明とブラシストロークの例を示します。

ブラシ カテゴリ

ブラシストローク例

アクリルとオイル

[アクリル] カテゴリのブラシ バリエントは、キャンバスに速乾性のペイントを施すことができる便利なブラシです。ほとんどのブラシは下になるブラシストロークを塗り潰すことができ、多くは多色使いのブラシストロークに対応しています。



ウェット ソフト アクリル

ブラシ カテゴリ

【油彩】 カテゴリのブラシ バリアントは、まさに油彩のようなタッチで描画します。このうち、半透明のものはグレーディング手法に向いています。残りの不透明なものは下の色を塗り潰します。

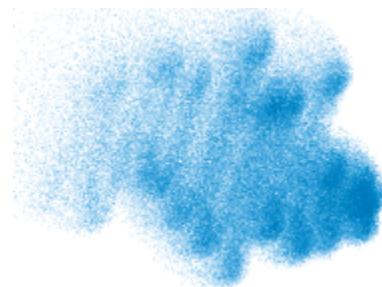
ブラシストローク例



細目キャメル

エアブラシ

【エアブラシ】 はスプレーで色を吹き付ける、感触も操作も本物にそっくりなブラシです。ほとんどのエアブラシは 1 回のブラシストロークで色を重ね塗りすることができますが、この機能を持たないデジタル エアブラシもあります。デジタル エアブラシで色の重ね塗りを行う場合は、ブラシストロークを何度もオーバーレイする必要があります。



細目スプレー

アーティスト

【アーティスト】 カテゴリのブラシ バリアントは、絵画の巨匠の画風を模したブラシです。たとえば、ヴィンセント ヴァン ゴッホの絵のように、それぞれのストロークに複数の色があるタッチで描くことができます。



サージェントブラシ

ブラシ カテゴリ

フォトペイント ブラシ

写真の自動ペインティング時もブラシを使用することはできますが、[フォトペイント] カテゴリのブラシ バリエントは自動ペインティングに特別に最適化されています[フォトペイント] ブラシを使用するには、ペイントの参照元として使用できる写真やその他の種類のイメージを開く必要があります。ブラシストロークとキャンバスの反応性を細かくコントロールする場合は、[プロパティ] バーで個々のストロークの設定を変更します。

ブラシストローク例



ソフトクローン

ブレンド

[ブレンド] ブラシは、触れたところのピクセルをずらしたり色を混ぜたりするブラシです。このブラシは、水やオイルで絵具を溶かし混ぜる動作を模倣します。また、鉛筆スケッチや木炭ドローイングで実際にするように、線を柔らかくしたり陰影をつけたりするのにも使えます。



水滴

チョーク、パステル、クレヨン

[チョーク] カテゴリのブラシ バリエントは、本物のチョークのような厚付きで表情に富んだストロークで描画します。紙のテクスチャをよく反映し、不透明度はスタイルスの筆圧に反応します。



角チョーク

ブラシ カテゴリ

オイル パステルを含む **[パステル]** カテゴリのブラシ バリアントは、テクスチャがはっきり出る固めのものから、滑らかに描けて下の色をきれいに塗り潰す特別に柔らかい (X-ソフト) タイプのものまで、いろいろなものが揃っています。不透明度がスタイルスの筆圧で変化するブラシです。

ブラシストローク例



X ソフトパステル (角)

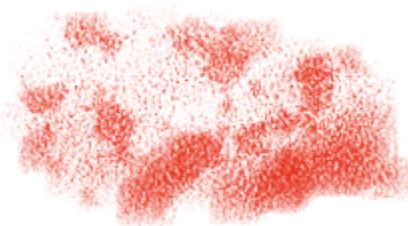
[クレヨン] カテゴリのブラシ バリアントのタッチはさまざまです。ソフトなもの、固めのもの、透明感のあるもの、テクスチャが強く出るものといろいろですが、すべてテクスチャに反応します。他のドライ メディア系ブラシと同じく、スタイルスの筆圧で不透明度が変化します。



クレヨン

描点ステンシル

[描点ステンシル] ブラシ バリアントは、ブラシの描点の領域をより透明にしてノックアウトします。用紙やフロー マップなどのステンシル メディアを使用します。



フロー マップ - チョーク

ブラシ カテゴリ

ブラシストローク例

デジタル水彩

[デジタル水彩] カテゴリのブラシ バリエントは、キャンバスのテクスチャを生かしつつ水彩の効果をもたらし、より写実的にフロー、混合、吸収をコントロールすることができます。**[デジタル水彩]** ブラシストロークの幅は、スタイルスの筆圧によって変化します。



ぼかし水彩

ダイナミック スペックル

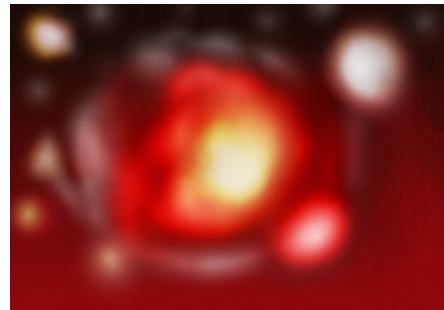
[ダイナミック スペックル] ブラシ バリエントは、色またはスペックルのスポットで構成される連続的なブラシストロークを生成します。ブラシストロークのスペックルは本当にダイナミックです。ペイントすると同時に生成されます。この機能はパーティクル システムの物理特性とユーザーの筆圧にリンクされたブラシ厚みコントロールを結合することで、魅力的な Natural-Media ブラシストロークや、ポロック風の斬新な飛沫の描画を可能にします。



フロー スプレー ブレンド

F-X

[F-X] カテゴリのブラシ バリエントは、面白いものばかりです。色がつくものもあれば、下にあるイメージを変化させるものもあります。**[F-X]** カテゴリのブラシを知るには、既存のイメージや白いキャンバスで試してみるのが一番です。



グロウ

ブラシ カテゴリ

グレーディング ブラシ

【グレーディング ブラシ】では、不透明度はブラシストロークに沿って最小から最大まで滑らかに高くなります。そのため、激しい変化や色の均等な混ざり合いはありません。グレーディングブラシは、長い連続的なストロークを使用し、マークの先頭から末尾まで非常にソフトなグラデーションで領域を塗り潰すときに役立ちます。

ブラシストローク例



扁平

粒子

【粒子】ブラシは、物理学からヒントを得たブラシで、アートワークに独特的な外観と雰囲気を与えます。中心点から粒子を放出し、それらがキャンバス上を移動すると、粒子で線(パス)のパターンが描画されます。



スプリング レインボー シルク

パターンペン

【パターンペン】カテゴリのブラシ バリアントはパターンをブラシに乗せて描画します。ブラシストロークになって描かれるパターンは、縮尺や不透明度が変化しています。



パターンペン

ブラシ カテゴリ

鉛筆、ペン、マーカー

【鉛筆】 カテゴリのブラシ バリアントは、スケッチから精密な線画まで、実際の画材として鉛筆を使うような作業に最適です。本物の鉛筆と同じようにキャンバスのテクスチャで表情が出ます。多くのバリアントが重ねて描くと色が暗くなる重ね塗りタイプで、どれも不透明度がスタイルスの筆圧で変化します。**鉛筆** の線の太さはストロークの速さに応じて変化し、早くドラッグすると細い線になり、ゆっくりドラッグすると線が太くなります。

ブラシストローク例



鉛筆(塗り潰し)

【ペン】 カテゴリのブラシ バリアントは、インク詰まり、インク漏れ、インク切れといった実物のペンの欠点に悩まされることなく、本物に近い線を描くことができます。**【カリグラフィ ペン】** ブラシを使って、テクスチャのある紙の上に描いたカリグラフィ ペンのようなストロークを再現できます。



カリグラフィ ペン

【マーカー】 カテゴリのブラシ バリアントは現実的な従来のマーカーを再現します。種類も極細から先の太いものまで、ペン先の形状もさまざまで、不透明度にも幅があります。



フェルトマーカー

ブラシ カテゴリ

ブラシストローク例

スponジ

【スponジ】は現在の選択色で下にある色を覆い隠したり、あるいは混色したりしながら、画面に表情を与えるのに使います。【色引きウェットスponジ】はドラッグした道筋に沿って、選択色を地色と混色しながら描画します。



色引きウェットスponジ

ツールボックスについて

ツールボックスでは、ペイント、形状の塗り潰し、ドキュメントの表示と移動、選択範囲を取り込むツールを使用できます。ツールボックスの下には、カラー セレクタとテクスチャ セレクタがあります。

以下の表で、Corel Painter Essentials 7 ツールボックスのツールを説明します。

ツール

説明

カラー ツール



ブラシ ツールを使用すると、キャンバスまたはレイヤー上にペイントまたは描画できます。ブラシのカテゴリには、鉛筆、ペン、チョーク、エアブラシ、油彩、水彩などがあります。ブラシ ツールを選択すると、[ブラシライブラリ] パネルが表示され、そこから特定のブラシを選択できます。



スポット ツール使用すると、既存のイメージから色をサンプリングできます。スポット ツールで色を選択すると、カラー ホイールにもその色が示されます。



塗り潰しツールを使って、カラーで領域を塗り潰すことができます。プロパティ バーには、塗り潰し可能な領域と使用可能なメディアのオプションが表示されます。

テキスト、消しゴム、切り抜きツール



テキスト ツールを使用すると、文字の形をしたイメージを作成できます。フォントやポイント サイズを設定するには、[プロパティ] バーを使用します。



消しゴム ツールを使って、ブラシストロークを使用してイメージから不要な領域を削除できます。

ツール



説明

切り抜き ツールを使って、イメージから不要な領域を切り取つて削除することができます。

選択範囲ツール



長方形選択ツールを使用すると、長方形の枠でイメージを選択できます。



楕円形選択ツールを使用すると、楕円形の枠でイメージを選択できます。



投げ縄選択 ツールを使用してフリーハンドで選択範囲を指定できます



自由選択 ツールを使用すると、イメージをクリックまたはドラッグすることで、類似した色の領域をまとめて選択できます。



選択範囲調整ツールを使用して、**長方形**、**楕円形**、**投げ縄**、および**マジック ワンド**の選択ツールで作成した選択範囲の選択、移動、操作を実行できます。



変形ツールを使用すると、さまざまな変形モードを使用して、イメージの領域を変更できます。



レイヤー調整ツールは、レイヤーを選択、移動、編集するときに使用します。

フォトツール



スタンプ ツールを使用すると、**【ストレート クローン】** カテゴリのブラシ バリアントに素早くアクセスでき、イメージ内やイメージ間の領域をサンプリングできます



覆い焼き ツールを使用すると、イメージのハイライト、中間色、影の部分を明るくできます。



焼き込みツールを使用すると、イメージのハイライト、中間色、影の部分を暗くできます。

対称ツール



ミラー ペインティング モードでは、完全な対称ペインティングを作成できます。



万華鏡 モードを使用すると、基本的なストロークをカラフルで対称的な万華鏡のようなイメージに変換できます。

ツール

説明

ナビゲーション ツール



手のひら ツールを使用すると、イメージを素早くスクロールできます。

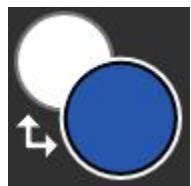


拡大 ツールは、細かい作業を行うときにイメージの一部を拡大表示したり、イメージ全体を見るために縮小したりするときに使用します。



用紙回転 ツールを使用すると、描きやすい角度になるように、イメージを回転できます。

セレクタ



カラー セレクタを使用すると、メインカラーとサブカラーを選択できます。前面のタイルにはメインカラー、背面のタイルにはサブカラーが表示されます。 **カラー** ホイールの表示/非表示を切り替えるには、**カラー** セレクタをダブルクリックします。



テクスチャ セレクタ を使用すると、**【テクスチャ】** フライアウトが開きます。 **【テクスチャ】** フライアウトでは、キャンバスの表面のテクスチャを選択して変更し、ストロークを適用するときによりリアルな結果を得ることができます。

パネルとパレットについて

Corel Painter Essentials 7 のインタラクティブ パレットは 1 つのタブが付いたコンテナで、コマンド、コントロール、各種設定にアクセスできます。パネルはパレット内に格納されます。パレットには、1 つまたは複数のパネルを格納できます。たとえば、よく使うパネルを 1 つのパレット内に配置できます。また、Corel Painter ウィンドウ内でパネルやパレットを並べ替えると、よく使うツールやコントロールに素早くアクセスでき、画面のスペースも節約できます。



このパレットには 3 つのパネルがあります。フォトペインティング、ミキサー、カラーセットです。パネルにアクセスするには、そのパネルのタブをクリックします。

パネルについて

Corel Painter Essentials 7 には、各さまざまなツールや設定を含むパネルが複数あります。

パネル

説明

フォトペイント

フォトアートの作成に必要なすべてのツールが用意されています。

ミキサー

実際の絵具パレットと同じように色を混ぜたりブレンドしたりできます。

カラー セット

現在のカラーセット内の色を表示し、色のグループを分類します

[ナビゲーション] パネル

縮小表示せずにドキュメント ウィンドウを移動できます。

レイヤー

Corel Painter Essentials 7 書類のすべてのレイヤーをプレビューしたり、並べ替えたりできます。レイヤーの追加、削除、最小化を実行できます。また、合成方法、不透明度の調節、レイヤーのロック/ロック解除を設定することもできます。

パネルとパレットを再配置する

作業に合わせて、パネルを並べ替えることができます。たとえば、複数のパネルを 1 つのパレットでグループ化するなどです。また、パネルを追加または削除、パネルの位置を変更、またはパネルを別のパレットに移動すると、パレットを随时カスタマイズできます。

パネルは必要に応じて表示でき、作業が終了したら閉じることができます。パネルやパレットを最小化したりそれらのサイズを変更することで、画面のスペースを節約しつつ、アプリケーション内にパネルやパレットを表示させておくことができます。

パレットとパネルは作業領域の前面に表示されます。ドッキングすると、パネルやパレットは Corel Painter ウィンドウの一部として、垂直の端に吸着されます。ドッキングを解除するとパネルやパレットが切り離され、移動できるようになります。ドッキングを実行するには、パネルのタブか、パレットのヘッダー バーをドラッグします。



標準的なパレットには、ヘッダー バー (1) とパネル タブ (2) があります。

パネルをパレットにグループ化する

- 以下の表を参考にして操作を行います。

目的	操作内容
パネルをパレットにグループ化する	パネルのタブをつかみ、開いている別のパネルにドラッグし、グループを作成します。
パネルをパレットに追加する	パネルをパレットにドラッグします。
パレットからパネルを削除する	パネルをパレットの外にドラッグします。
パレット内のパネルの位置を変える	パネルのタブをつかみ、パレット内の別の場所にドラッグします。

パネルまたはパレットを表示/非表示にする

- [ウィンドウ] } をクリックし、目的のパネル名を選択します。



既に隠されているパレットを復元するには、[ウィンドウ] を選択し、パレットに含まれているパネルの名前を選択します。

すべてのパネルを非表示にするには、[ウィンドウ] } [パネルを隠す] の順にクリックします。[ウィンドウ] } [パネルの表示] を選択すると、[パネルを隠す] を選択したときに開いていたパネルだけが表示されます。

パネルを拡張する/最小化する

- パネル タブをダブルクリックします。

Corel Painter 製品ファミリー

Corel Painter 製品ファミリーについて詳しくは、www.painterartist.com をご覧ください。

Corel Corporation
1600 Carling Ave.
Ottawa, ON
K1Z 8R7
Canada